**《Lesson 2》 肯定の命令文（be動詞編）**

　be動詞の肯定の命令文は「あなたは静かです」「あなたは良い生徒です」といったbe動詞の文章を「静かにしなさい」「良い生徒でいなさい」という形にしたい時に使います。ポイントは、

**主語がなく文章をBeで始める**

というものです。このBe は、be動詞の原形となります（一般動詞の場合『原形』と『( I / you / we /theyで使われる) 現在形』が同じとなります）。

**【肯定の命令文（be動詞編）：基本の形】**

**Be ＋ ～.**

（～しなさい / ～でいなさい）

＜例＞　Be nice. （優しくしなさい）

　　　　　　 Be a good student. （良い生徒でいなさい）

**【作り方】**

**ステップ⓵：** Youを主語にした**肯定文**を作る。

**ステップ②：** 主語の**Youを取る**。

**ステップ③：** 文の先頭の「be動詞」を **“Be”** にする。

**＜例1＞「優しくしなさい」という文の場合。**

　　　ステップ⓵：You を主語にして肯定文を作る。　「（あなたは）優しいです」

　　　　　　　　　　　　　 You are nice.

　　　ステップ②：主語の You を取る。

　　　　　　　　　　　　　 Are nice.

　　　ステップ③：文の先頭の「be動詞」を “Be” にする。

　　　　　　　　　　　　　 Be nice.

**＜例2＞「良い生徒でいなさい」という文の場合。**

　　　ステップ⓵：You を主語にして肯定文を作る。　「（あなたは）良い生徒です」

　　　　　　　　　　　　　 You are a good student.

　　　ステップ②：主語の You を取る。

　　　　　　　　　　　　　 Are a good student.

　　　ステップ③：文の先頭の「be動詞」を “Be” にする。

　　　　　　　　　　　　　 Be a good student.

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。